

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
<p>記入欄を広くするなど、要録を手書きで記入する園にも配慮してほしい。</p>	<p>様式を統一するのであれば、用紙はA4縦でも、欄はできるだけ横長にした方が書きやすい。</p> <p>記入欄が狭い。当園のようにシステム化している園はよいが、手書きで要録を作成している園にも配慮してほしい。</p> <p>記入欄の広さにバラつきが見られる。記入者に配慮した広さにしてほしい。</p> <p>手書きで要録を作成。以前ヒアリングした際には、先生10名中データ化に賛成した先生はわずか2名。そういう状況の園もあることを踏まえてほしい。</p> <p>データ化を進めるに当たっては、新たに端末の準備が必要だし、セキュリティの確保も課題。</p> <p>保育簿と同様に手書きで要録を作成。</p> <p>データ化は、結局園での限られた時間で作成しようとするとならぬ数の端末を用意しなくてはならない。</p> <p>「指導上参考となる事項」をもう少し大きなスペースにするなど、保育士が記入しやすくする工夫ができないか。</p> <p>園長等の印を押すために出力しなければならず、最終年度まで出力しなくてよい様式であれば有り難い。</p>	<p>・手書き、PCによる入力の際の場合でも入力・閲覧がしやすいよう、なるべく記入欄を大きくするとともに、横長の形状にしています。さらに大きな欄が必要であれば、欄外下の注意書きを削除するなどして、欄を広げてください。</p> <p>・手書きにより作成していただくことも可能です。印は原則省略する形としています（最終年度のみ押印していただくことは可能です。押印する場合は、園長等の氏名の横に押印してください）。</p>
<p>新様式の導入、活用、浸透には時間がかかるのではないか。</p>	<p>要録を新たな様式にすると、周知し、浸透させていくには時間を要すると思う。</p> <p>将来的に就学前施設の要録の統一化を図るというコンセプトは理解できる。しかし行政から下りてくることを、そのまま現場に「やりなさい」というのでは上手くいかない。設置者・園長レベルでは、小学校との要録の共有方法について議論したり、主任や教職員レベルでは書き方や内容のレベルアップを図る研修の充実を図るなど、要録をどうしていくことが子どもの学びの接続にとって必要なのか、時間をかけて議論・検討をしていきたい。</p> <p>現在要録のシートは業者から購入。どの園も在庫がなくなるまではフォーマットを変えにくいという事情もあるだろう。</p> <p>要録はいつから活用するのか。</p>	<p>・新様式の活用は、例えば現在の在庫を使い切ってから、来年度の新入園児や来年度の卒園児からでも構いません。</p> <p>・要録の新様式については徐々に活用、浸透を図っていきたくと考えております。併せて、要録を活用した研修等も実施し、各園の先生のスキルアップと要録作成のノウハウの共有等も図っていきたくと考えております。</p>

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
<p>負担軽減の観点等を踏まえ、要録の作成は5歳児の記録のみでよいのではないか。</p>	<p>最終年度（5歳児）でも労力を要するが、最終年度以前（0歳児～4歳児）については、小学校の先生も実際は活用していないのではないか。</p>	<p>年長児（5歳児）より前の記録については、幼保連携型認定こども園は0歳児～年中児（4歳児）、幼稚園は満3歳～年中児（4歳児）、保育所については、最終年度に至るまでの育ちに関する事項として、それぞれ記入が想定されているところです。</p> <p>新様式においては、小学校での活用のしやすさや保管上の利便性、また、小学校では年長児の記録を重点的に活用している状況などを考慮し、1ページ目の学籍等に関する記録と2ページ目の年長児の指導等に関する記録の写しを送付していただくことを原則とし、年長児より前の記録の送付については、必要に応じて行っていただきますよう、お願いします。</p>
	<p>2歳児～4歳児の記入は不要、そもそも要録自体も不要ではないかと考えている。</p>	
	<p>小学校へ送るのは5歳児のみで良い</p>	
	<p>指導・保育要録のうち0～4歳児段階までの要録作成は、保育士に過大な業務量を課すことになり反対である。5歳児段階の要録のみでその子の指導上必要な情報は伝えられるはずであり、そのように工夫するべきである。</p>	
	<p>就学前施設も小学校も現場は業務量が多く、負担が大きくなっている。現場の保育士の負担軽減のためには、むしろ様式を簡素化できないか。</p>	
	<p>仕事の軽減化を希望する</p>	
	<p>10の姿の5歳の姿を記載</p>	
	<p>要録のねらいとしては、5歳児だけでよいと思われる。ただし、療育など育ちを伝える必要がある事柄は記載する必要があると思う。</p>	
<p>育ちの流れがあって5歳児があるので5歳児だけでよい。</p>		
<p>・監査では、要録としては国が示している5歳児の姿の記載でよいということであった。</p>		

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
<p>要録のページ数を削減してほしい。</p>	<p>A3でもよいから、なるべく1枚にまとめられないか。</p> <p>何度も氏名を書くのが煩雑だし、学籍のページと5歳児のページをA3用紙の1面に収めてはどうか。</p> <p>京都市の保育要録は、厚労省の1ページの要録と比べて4ページもあり、年長児担任の保育の負担が大きい。もし、今回改定するならば、今まで通りに2ページ以内におさめてほしい。</p> <p>小学校に、保育要録を提出するために、年長児の担任は、2月～3月の時期に、残業して作成する。やはり、4ページもある保育要録作成は、とても労力がかかり、大変である。もっとシンプルにすべきだ。</p> <p>10の姿については、児童一人ひとりに添付する必要はないのではないか。枚数をより少なくできないか。</p> <p>1枚の紙面で簡潔にならないか。名前を何回も書かなければならない。</p> <p>保育に関する記録5歳児をポイントにA4裏表1枚にならないか。その方が小学校も読みやすいのではないか。</p> <p>文章で書くところが少ない方がよい。</p>	<p>働き方改革の観点も踏まえ、京都市では、1ページ目の学籍等に関する記録と2ページ目の年長児の指導等に関する記録の写しを送付していただくことを原則とし、年長児より前の送付については、必要に応じて行っていただきますよう、お願いします。</p> <p>加えて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」についても、別紙扱いとすることで、様式からは割愛することとしています。</p> <p>上記により、両面1枚に収まるものと考えています。</p>
<p>小学校就学前施設と小学校の先生同士の顔の見える関係づくりが大切である。</p>	<p>保幼小連携は要録ありきではない。要録ではデリケートなことは記入できないため、必要な時に情報交換できるよう、就学前施設と小学校の先生同士が顔の見える関係づくりが大切。現場としては交流の機会を増やしてもらえ方が有り難い。</p> <p>保育園も実は小学校のことをあまり分かっていない。お互いをもっとよく知るべきであり、要録だけではなく、もっと交流を深めていったほうがよい。</p> <p>要録については個人情報観点から、もっと書きたいけど書けないというジレンマがある。</p> <p>小学校に送付する書類は要録くらいしかないが、小学校とのつながりは大事にしていきたい。</p> <p>要録の将来的な統一化も理解はできるが、やはり教職員の専門性の向上がセットで進まない、様式だけでは意味がないと思う。</p> <p>要録は開示が求められるので、あからさまに記載できない。学校からの問い合わせで知らせている。</p>	<p>要録は指針・要領で定められている、子どもの学びと育ちを小学校に伝えるための非常に重要なツールですが、紙面で記載できる内容には限りがありますので、園と小学校の先生同士の顔の見える関係づくりが最も大切だと考えております。</p> <p>このため、合同研修会の実施による機会の確保やパンフレットによる好事例の発信等により、取組を促進していきたいと考えています。</p>

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
<p>要録に記載してほしいポイントなど、小学校の先生の意見を聞きたい。</p>	<p>小学校側の意向として、いつ送ってほしいのか、どんな情報を書いてほしいのか、といったことが分かれば、その意向に合った形で情報を提供していきたいと思っている。</p> <p>小学校は忙しいため、要録が活用されていないとも聞く。せっかく作るのなら、実際に小学校の先生が使って喜ばれるものにしたいので、どういったものがほしいのか聞いた方がよい。</p> <p>小学校が参考にしたいと思うような情報を幼稚園側もきちんと記入しないといけない。</p> <p>要録ぜんぜんつかわれてないのではないのか。</p> <p>小学校で必要としている要点・ポイントを知りたい、またどの程度活用しているのか、実際に読んでいただいているのか知りたい</p> <p>要録は小学校で参考にされているのか。</p> <p>小学校が統一したものを作成してほしい。</p> <p>現場は記入する事務時間の確保がむづかしい。時間をかけて作成しても参考にされなければ意味がない。小学校に知りたい要録を作成してもらった方がよい。</p>	<p>小学校では、受け取った要録に必ず目を通し、一人ひとりの子どもの理解や指導のために活用していますが、活用の時期や活用度合いはさまざまです。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」など、30年度に改訂された内容について、園と同様に、改訂以降、研究・研修等を進めているところであり、今後もより有効に活用できる方法を研究していきたいと考えています。</p> <p>要録の作成に当たっては、小学校の先生からは、次のような観点で記載してもらえると有り難いと聞いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に伝える意識を持ちながら ・数多くのエピソードの中から特徴的なものを選んで ・達成度ではなく園児にとっての成長が見られた内容を ・先生の具体的な援助や指導とその成果が分かるように ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)を通して語り合えるように <p>今後作成を予定しているパンフレットにも記載し、周知することで、相互理解を深めていきたいと考えています。</p>
<p>新様式の導入を強制すべきではない。</p>	<p>要録の統一化という理想はあってよいが、一方で今の現場の現状も踏まえた取組とすべき。</p> <p>当法人では園同士をLANで接続し、要録作成ソフトを導入しており、国様式を使っている。変更は必須なのか。</p> <p>ほとんどの「保育支援ソフト」に入っている保育要録は、厚生省の保育要録であり、ソフトから、過去データも直ぐに出すことができ、とても使いやすい。しかも提出する要録は、1ページでおさまっており、シンプルで書きやすく、中身も分かりやすい。年長児数が多い保育園は、厚生省方式の方が良い。絶対に京都市方式を押し付けないでほしい。</p> <p>今まで通り、京都市方式と厚生省方式を並列で行って下さい。</p> <p>3歳からあるいは5歳のみの様式が良いと両方の意見がある</p> <p>独自の要録でもよいのか。</p>	<p>新様式については、平成30年度に実施した園と小学校に対するアンケートの結果等を踏まえ、小学校での活用しやすさも勘案して、京都市の標準様式として定めるものです。新様式の使用を各園に義務付けるものではありませんので、各園の実情に応じて導入していただければ結構です。</p>

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
新様式の任意様式について	<p>当園ではアクティブラーニングも取り入れているため、園の方針等の箇所にはそういったことを記入できるかもしれない。</p> <p>任意様式のシートがあるので、園の独自性を確保できるので良いのでは。</p> <p>簡素化を希望する一方で0歳からの丁寧な記録が重要で簡素化ばかり考えたくないし、統一すること自体最良と思えない。</p>	<p>年中児以前の記録や、独自の記録等を作成している園におきましては、その写しを小学校に送付していただければ、小学校において活用させていただきます。</p>
要録の受渡しについて	<p>要録は、一方的に郵送するだけになっているので、学校でどのように活用されているのか見えない。受け取ったという連絡をしてくれる学校はあるが、内容について聞かれたことはない。</p>	<p>要録の受渡しの際に相互に連絡を取ることは、確実な受渡しのためだけでなく、「顔の見える関係づくり」にもつながることから、今後作成予定のパンフレットに記載し、周知していきたいと考えております。</p> <p>また、小学校では、受け取った要録に必ず目を通し、一人ひとりの子どもの理解や指導のために活用していますが、活用の時期や活用度合いはさまざまです。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」など、30年度に改訂された内容について、園と同様に、改訂以降、研究・研修等を進めているところであり、今後もより有効に活用できる方法を研究していきたいと考えています。</p>
	<p>要録の統一はよいことだと思うが、送付時期も大切。小学校に配慮して、3月には届けているが、4月以降に送付している保育園もあると聞く。送付時期についても周知した方がよいのでは。</p>	<p>要録については、幼保連携型認定こども園については出席日数等を記入する必要がありますが、年長児が小学校に入学する年の3月末までにされることが望ましいです。</p> <p>要録の説明文においても同内容を記載し、周知していきます。</p>
新様式のデジタル化について	<p>手書きは大変。パソコンで入力できるように様式をデータ化してほしい。</p> <p>共通様式はPC等で入力できるようになるのか。</p>	<p>各園で活用していただけるよう、要録のワードやエクセルのデータを作成し、京都市情報館でも公開しています。</p>

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
乳児園や小規模保育施設について	小規模保育施設からは引継ぎの記録を送ってくれる施設もあるが、そうでないところもあるため、小規模も活用できる様式があるとよい。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの様式と同様に、新様式も小規模保育施設や乳児園でも活用していただけです。 幼稚園及び幼保連携型認定こども園においては、転園した場合、要録の写しを転園先に送付することとされており、保育所、乳児園、小規模保育施設においても、これに準じた形で、転園先と子どもの情報の引継ぎを確実に行うようお願いいたします。
記載項目、表現等について	乳児期の記述をまとめて書くのはかえって難しい。	あくまでも任意ですが、乳児期の記録の記入がしやすいよう、歳児別に欄を区分しました。
「最終年度の重点」は「学年の重点」にした方が良くと思う。最終、と言われると、保育士はそこに到達しないといけないように受け取ってしまうのではないか。	氏名等を記入する欄が複数箇所あり、煩雑。	<p>年長児についても、「学年の重点」としました。</p> <p>記入することで記録のページの紛失、混入混在等が防止できると考えております。</p> <p>なお、エクセルの様式では、1箇所の入力内容が他の欄にも自動で反映されるよう、カスタマイズも可能です。</p>
1枚目の各年度の担任等の記入欄は引継ぎ等の際に便利かもしれない。	0～2歳児については、指導の重点、学年の重点という考え方が当てはまらないため、記入欄はいらないと思う。	<p>幼稚園及び幼保連携型認定こども園の国の参考様式を踏まえ、様式に盛り込みました。</p> <p>国の参考様式を踏まえ、0歳児及び1歳児については、「学年の重点」を削除しました。</p>
0歳児～2歳児には「学年の重点」項目は不要ではないか。	入園時の子どもの姿は最終ページの任意様式ではなく、「入園前の状況」がある1枚目の学籍情報のところに記載する方が自然ではないか。	1ページ目の学籍等に関する記録の最下段に記入欄を設けました。
学籍情報の学級や年齢を記載する欄については、いわゆる「ゼロゼロ歳児」も記載できるようにしてほしい。	児童一人に対し、複数の担任がつく場合はどのように記載すればよいか。	<p>学級欄、園児の年齢欄について、7区分の記入欄を設けました。</p> <p>1ページ目の学籍等に関する記録の担当者の氏名欄に複数名を記載します。その場合、記録欄に記入者の氏名を記載していただければ、小学校からの問い合わせの際、便利であると思われまますので、参考にしてください。</p>
出席状況については、家庭の状況などを特記する文章の中に必要な場合は含めて記入するので、「教育日数」、「出席日数」の欄は不要である。	様式の活字が小さいので、書く時もその文字の大きさに合わせてしまうのではないか。大きめの字で表記して、量的な負担感を和らげる方がよいのでは。	幼稚園及び幼保連携型認定こども園は必要項目のため欄を設けていますが、保育所では記入不要です。
		たたき台から、新様式の項目名の文字をなるべく大きくしています。

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
	個人の重点は書きにくい。	当該項目については、1年間を振り返って、子どもとの関わりで特に重視してきた点を記入する項目であり、一人ひとり異なった内容になります。日常の保育記録等を活用しながら記載されることを想定しています。
	整理番号は使っていない。	国の様式において、当該項目は幼稚園及び幼保連携型認定こども園において記載が想定されている項目となっていますが、使っていない場合は、記載する必要はありません。
	文書できちんとどのような要録を送るのかを示してほしい。	要録の様式と合わせて、要録の記載内容等の説明文を作成していますので、御参照ください。
	指導上参考となる事項に記載が必要な項目名を印刷しておくなど、保育士が記入しやすくする工夫ができないか。	<p>指導上参考となる事項には、小学校への円滑な接続を念頭において、5領域や重点を踏まえた指導を通じて就学前の時点で子どもに育まれている資質・能力を捉え、最終年度の指導の過程と育ちつつある姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)と照らし合わせながら記入します。なお、10の姿については特によく成長したと思われるところや小学校でさらに伸ばしてほしいと思うところを記入すればよく、すべての姿について網羅的に記入する必要はありません。</p> <p>当該項目は一人ひとり異なる内容のため、あらかじめ項目名や定型例をお示しすることは難しいため、園児一人ひとりのエピソードの中から特徴的なものを選び、記入してください。</p> <p>なお、今後、照らし合わせていただく10の姿等を盛り込んだ、保幼小連携のためのパンフレットを作成予定です。</p>
	保育所においてが記入が必須とされている項目をわかりやすく明示してほしい。	記入が必須の項目に「*」を記載しました。

要旨	御意見等(一部修正)	考え方
統一化について	<p>保育所の要録を幼保連携型認定こども園に合わせるのはいい。</p> <p>現状、厚労省の5歳児のみの要録の園もある。入園からの京都方式の要録の園もある。今がそろっていないので統一することは良い。</p>	<p>新様式については、平成30年度に実施した園と小学校に対するアンケートの結果等を踏まえ、小学校での活用しやすさも勘案して、京都市の標準様式として定めるものです。新様式の使用を各園に義務付けるものではありませんので、各園の状況に応じて導入していただければ結構です。</p>
就学支援シートについて	<p>就学支援シートの様式と活用方法は。</p>	<p>就学支援シートは、保護者との協力のもと、発達に関して心配のある子どもの新しい環境への戸惑いや不安を軽減し、学習や生活を円滑にスタートできるように、小学校に子どもの様子等を伝えるために作成するものであり、要録と合わせて、引き続き、積極的な活用をお願いします。なお、様式を変更する予定はありません。</p>
10の姿について	<p>10の姿は必要ない。(ゴールを縛られることに抵抗がある先生もいるのではないか。)</p> <p>幼児期の終わりまでにしてほしい姿は要らないのではないか。</p>	<p>いわゆる「10の姿」は、幼児教育で育みたい、「資質・能力」を踏まえて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的に表したのですが、達成すべき目標ではなく、幼児教育・保育を通して子どもたちがどのように育つか、その目指すべき方向性を示したものであり、子どもの育ちを読み取るための目安とされています。平成30年度の改訂において、小学校の新学習指導要領においても明確化されており、幼児期の教育・保育を円滑に接続するうえで、重視されているものです。</p> <p>一方で、園児一人ひとりの要録に添付する必要はないと考えられることから、別紙扱いとし、要録の様式からは割愛しています。</p>
その他	<p>公立の保育園の様式はどのようにするのか。</p>	<p>今回の様式を本市の標準様式とすることとし、市営保育所においても、導入することとしています。</p>